中学生職場体験・三原市立第五中学校

三原市立第五中学校の2年生2人は9月上旬の3日間、JA三原西アグリセンターで職場体験を行いました。

初日は、トラックからフォークリフトで荷下ろしされた野菜を品種や種類ごとに仕分ける「荷受け作業」を体験。間違いがないよう一つ一つ品種ごとに決められた場所へ正確に確認しながら作業に取り組みました。普段の学校生活では得られない仕事の経験を通して、働くことの大切さや責任を学びました。

生徒らは「慣れない作業で疲れたけど、普段できない特別な体験ができて楽しかった」と笑顔で話しました。


▲野菜の荷受け作業をする生徒

相続セミナー開催

JA三原西支店は9月11日、相続セミナーを開催しました。

三原西支店ふれあい委員会を中心に、JA広島信連、JA資産・相続相談課、葬祭課、支店職員などが運営に携わり、組合員23人が参加しました。

セミナーでは、相続の基礎知識や必要な手続きについて、エンディングノートを活用しながら分かりやすく説明しました。もしものときの葬祭についても紹介があり、土地や家の名義など身近な疑問について具体的に学ぶことができ、参加者は熱心に耳を傾けました。

参加者は「元気なうちに家族と相続について考えておくことの大切さを学ぶ機会になった。一人で考えるのではなく、家族とも話をしてみるきっかけにしたい」と話しました。


▲熱心に耳を傾ける組合員

広島わけぎ出荷会議開催

県特産のわけぎ産地であるJAひろしま三原わけぎ部会とJA尾道市わけぎ部会は9月14日、三原市内で2026年度広島わけぎ出荷会議を合同で開きました。生産者や行政、JA、卸売市場の関係者45人が出席し、生産振興や販売計画について協議しました。

今年度は、両JAで出荷量を234t、販売金額を2億3400万円に設定。安定生産と販売拡大を進め、単価とブランド力の向上を図りながら、消費拡大と生産の維持・発展を目指します。

JAひろしま三原わけぎ部会の明石輝彦部会長は、生産と販売におけるこれまでの課題や取り組みを共有し、『広島わけぎ』の維持・発展に繋げたい」と、関係者に引き続きの協力を呼び掛けました。



▲挨拶をする明石輝彦部会長

竹原支店　竣工式

JA三原地域は9月14日、竹原支店の竣工式を行いました。JA関係者、竹原地区の総代、工事関係者ら30人が出席し、完成の祝いと建物の安全、一層の繁栄を祈願しました。

同支店は1973年に建築され、老朽化が進んでおり、三原地域の基幹支店として今後も竹原地域を支える重要な拠点であることから建て替えが決定し、2026年1月に着工しました。

新店舗は鉄骨平屋建てで、信用・共済事業を行う窓口の他、会議室や調理室を備え、幅広い利用者の交流や活動を支える場を目指します。

田中義彦組合長は「竹原支店が地域の拠り所として、末永く組合員・利用者・地域の皆さまに親しまれ、憩いの場となることを願っている」と話しました。


▲神事を執り行う
礒宮八幡神社の目黒宮司

なるほど え～のう！営農情報

水稲

水田畦畔の雑草管理

水田畦畔などの雑草管理は、生産者にとって大きな負担になっているかと思います。特に高低差が大きい所では雑草管理にかかる労力は大きくなります。

雑草地は放置しておくと、病害虫の温床になるので、適切に管理する必要があります。

雑草管理の方法は、様々ありますが、この時期から使用できる除草剤・抑草剤をご紹介します。

1～3月（雑草発生前～発生始期）

●カソロン粒剤6・7

一年生雑草のほか防除困難なヨモギ、ギシギシ、ヤブガラシ、スギナ等の多年生雑草にも高い効果を示します。吸収移行性の土壌処理剤で、雑草の発生を長期間抑えます。

春先の雑草発生前までに散布しましょう。最長で、5月下旬ごろまで効果を期待できます。

水のいらない粒剤なので、簡単に散布できます。

抑草　カソロン粒剤6.7

水田畦畔：4～6kg/10a 非農耕地など：10～15kg/10a 均一に散布してください

6月（雑草生育期）

●ザクサ液剤・バスタ液剤

幅広い種類の雑草に高い効果を示す非選択性除草剤です。

薬剤がかかった部分のみを枯らし、雑草の根を完全に枯らさないので、畦崩れしにくい状態を保ちます。

カソロン粒剤6・7の効果が切れる6月ごろに散布しましょう。

除草　バスタ液剤	除草　ザクサ液剤
	
水田畦畔：1000mℓ/10a（100倍） 雑草生育期（収穫7日前まで）	

●ダイロンゾル

地面に散布することで、これから発生する雑草を長期間抑えて、一部枯死させます。

畦畔、農道、水路などの法面の草刈り作業の回数や労力を軽減できます。

抑草　ダイロンゾル

水田畦畔：250mℓ/10a（400倍） 雑草発生前～生育初期（収穫30日前まで）

ザクサ液剤またはバスタ液剤と、ダイロンゾルは混用散布することで、除草効果と抑草効果の両方を発揮できます。混用散布される際は、草と地面にたっぷり散布してください。

詳しくはお近くのアグリセンターにお問い合わせください。

柑橘

11月からは早生温州の収穫・出荷が始まります。収穫前には、腐敗防止剤の散布を必ず行い、着色基準に達した果実から速やかに収穫しましょう。収穫が終了した園地は樹勢の回復を図るため、尿素200倍を散布してください。

○収穫・選別時の注意事項

早生	**収穫での注意事項** 食味が良く、着色基準に達した果実から収穫を行う。軸は2度切りし、軸長にならないように注意する。	**選別での注意事項** 収穫後は、速やかに出荷する。明るい場所で選別し、生傷果・着色期のアザミウマ被害果・日焼け果は排除する。
いしじ	**収穫での注意事項** 紅の完全着色（ヘタが黄緑色）になった園地から採収する。 ただしクラッキングが発生した場合は採収を早める。	**予措での注意事項** 収穫後、1週間程度、自然予措を行う。

●温州みかんの不作樹について

温州みかんの不作樹は夏秋梢が多く発生しており、そのままだと翌年に着花過多となる恐れがあります。樹勢の強い枝は春枝と夏枝の節（境目）の上で切り返し、弱い枝は春枝と夏枝の節（境目）の下で切り返しましょう。

●中晩柑類

果実肥大促進とかいよう病の防止のため、夏秋梢を処理します。ただし、しらぬひは弱い夏秋梢を間引き、強い夏秋梢を残すようにしましょう。はるみの夏秋梢は来年の結果母枝となるため、極度な間引きはしないように注意してください。

落葉果樹

落葉期に入っています。表1を参考に、落葉の状況を確認し樹体の状態を把握し今後の管理に役立ててください。

表1

落葉の状態	原因および懸念されること
気温の低下につれ葉色が次第に薄れ、霜に1～2回遭遇後、葉が褐変して一斉に落葉。	理想的な落葉。 栄養状態も良好。
従来の落葉時期よりも早く落葉。	樹勢が弱っている（病害虫被害、樹齢、管理不足等による）。 秋の乾燥、根の障害、地上部と地下部の不均衡等。
いつまでも枝の先端に緑色の葉が残っている	肥料（窒素）の遅効きや過剰による。 強樹勢の強せん定（切り返しせん定が多いなど）遅伸び、徒長型の生長等。 ※ただし、成木に限る。

収穫

カキの「富有」は、着色状況（写真）をみながら収穫しましょう。



収穫期を迎えた「富有柿」

肥培管理（土づくり・元肥の施用）

長雨や高温干ばつなどの気象変動に耐える樹体づくりのため、土づくりは重要な作業です。先月に引き続き、土づくりを行い根が活動しやすい環境を整えます。近年集中豪雨などの大雨で、表層の土壌が流れることがあります。そのような園地では3～5㎝程度の厚さに客土し、根の露出による樹勢低下を防ぐとともに表層の細根の発生を促します。ただし、客土が厚くなりすぎると通気性が悪くなる恐れがありますので注意して下さい。また、元肥の施用がまだの方は先月号を参考に実施しましょう。

園内清掃

収穫が終了し落葉後、園内に残っている落葉や枯れ枝、果実（残果）等は来期の病害の発生に大きく影響します。そのため、園内を清掃しきれいにしておくことが重要です。

苗木の植え付け準備

落葉果樹の苗木（イチジクの苗木を除く）を注文された方は、来月上中旬頃に苗木が配布されるため植穴の準備が必要です。植え付け予定の場所に、植穴を準備して下さい。植穴の幅を1ｍ程度、深さは20～30㎝程度を目安に掘ります。1穴あたり完熟堆肥を15㎏程度、マリンカルや苦土石灰など石灰質資材を3㎏程度、ヨウリン2㎏程度を土と混ぜて植え付けの準備をしておきます。

※イチジクは来年1月下旬頃に配布予定となります。

家庭菜園

寒い日が続くようになりました。寒くなってくるとできる農作業も少なくなりますが、今月からは徐々に秋冬野菜の収穫が始まってくる頃ではないでしょうか。さて今月は白ネギの生理生態と土寄せについてご紹介します。

白ネギ（ネギ）

植物の「種」としては、小ネギ（葉ネギ）も白ネギも同じ分類ですが品種特性の違いによって分かれています。白ネギは根元から新芽が分岐（分げつ）せず一本の主茎だけが太く強く育つ品種です。

ネギの生育適温は15～20℃です。25℃を超えると生育が鈍くなり、30℃を超えると生育はほぼ停止します。また、加湿には弱いです。一方、寒さと乾燥に強いです。そのため、水はけがよく日当たりの良い圃場が栽培に適しています。

白ネギ栽培において最も重要なのは「土寄せ」という作業になります。白ネギの白い「軟白部」は日の光に当たらないことで白く柔らかくなります。この軟白部を作り出すためにはネギが成長したら土をかけていき日の光に当たらないように大きくしていきます。

●土寄せ

ネギが伸びたら首元（成長点）下3㎝まで土を寄せます。この作業を数回繰り返し、最後は「止め土」といって首元（成長点）が隠れるまで土寄せを行いましょう。そうすることで緑と白の境目がはっきりします。軟白部が20㎝程度で収穫を行います。

土寄せによって根を痛めるため土寄せ後は「葉先枯れ」が起きます。病害虫による被害ではありません。



土寄せ前　　土寄せ後

Information お知らせ

せとだふれあいまつり

尾道市瀬戸田町で９月 18・19 日「せとだふれあいまつり」を開催し、多くの地域組合員・利用者にお越しいただきました！

柑橘加工品販売



生活・農業関連コーナー



ポップコーン無料配布



アンケートのご協力ありがとうございました



グルメコーナー



たこ焼き、鯛焼き、クレープなど美味しいグルメが大集結！

ふれあいまつり

令和８年
11月21日(土)
9:00～15:00
ＪＡ三原支店（三原支店駐車場）

産直市での大売り出しの他、
ゲームコーナーやみかんの詰め放題など
イベント盛りだくさんで
皆様をお待ちしております♪





鮎の塩焼き、
肉まんやうどんなどの
美味しいグルメも
ご用意！

親子で農業体験 in 三原 2026 ～稲刈り体験～

三原市高坂町で9月12日、稲刈り体験を開催しました。親子19組49人が参加し、鎌を使って稲を1株ずつ刈取りました。収穫後は割りばしやすり鉢を使って脱穀から精米までを体験しました。





コンバインの乗車体験



白米になるまでの工程を学習



12月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。
ご了承ください。

【アグリセンターの休日】
三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】
8：30～17：00

【年金相談会　開催時間】
10：00～16：00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
				三原	三原					年金相談会		三原						三原	三原							三原			※棚卸	三原
				三原西	三原西					久井中央支店		三原西						三原西	三原西							三原西				三原西
				本郷	本郷							本郷						本郷	本郷							本郷				本郷
				久井	久井							久井						久井	久井							久井				久井
				せとだ	鷺浦							鷺浦						せとだ	鷺浦							鷺浦				鷺浦
				竹原	せとだ							せとだ						竹原	せとだ							せとだ				せとだ
					竹原							竹原							竹原								竹原				竹原

※棚卸業務実施のため店舗を閉店します。ご了承ください。